



すなごだより

だいごう 第13号

れいわねんがつにち 令和3年6月16日



学校 HP はこちら

1学期もあとひと月…～つながりを大切に～



今日は6月16日です。あっという間に6月も半ばを過ぎました。

1学期が始まって、2カ月半。1学期の残りもひと月ほど、7月20日が終業式です。昨年と違い、

今年は翌21日から8月25日までひと月以上の夏休みがあります。

それまでに、子どもたちには『人と人がつながる』とはどういうことなのかということとをさらに深く考えさせたいと思います。人と人が向き合っていく時にトラブルは必ずあります。けれども、それを解決し、そのことをとおして、むしろより豊かで深いつながりをつくっていける人に育ててほしいと思います。お互いの良いところも不十分なところも丸ごと受け止められるような懐(ふところ)の深さを持った人間に成長して行ってほしいと願っています。

その際にキーワードとなるのが『相手を認める』ということではないでしょうか。保護者の皆様方も『相手を認める』ことの大切さや『相手を認めて初めて自分も認められる』ということ、それが人と豊かにつながるポイントであると、子どもたちにたくさん語っていただけたらと思います。さて、先日読んで良いなあと考えた『子どもが育つ魔法の言葉』という本の一部を抜粋して右に引用します。

子どもが育つ魔法の言葉より

『子は親の鏡』
けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる
「かわいそうな子だ」と言っていて育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引つ込みじあんな子になる
親が他人を羨(うらや)んでばかりいると、子どもも人を羨(うらや)むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
わかち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
分ち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもにも公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは強い子に育つ



「子どもが育つ魔法の言葉」【PHP文庫 ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス (原題 Children Learn What They Live Parenting to Inspire Values)】という本を読んでいて、なるほどなあと思いましたので、一部抜粋して載せてみました。



個人懇談について

本日、『1学期個人懇談のお知らせ』と『日程希望調整票』をお配りしました。個人懇談に関しての考え方は以前に『すなごだより』でもお知らせいたしました。20日には緊急事態宣言が解除される公算大でもあり、今年度は実施するという決断をしました。さらに、日程調整に時間がかかるため、少しでも早く日時をお知らせしたいと思い、緊急事態宣言下ではありますが、案内等をお子様とお配りした次第です。

新学期を迎えて、早くも2カ月以上が過ぎましたが、担任の顔すらご存じない保護者の方々も多いことと思います。この懇談の場で学校生活の詳細をお伝えするとともに、長い夏休みをどう過ごすかについてもお話し合いたいただきたいと考えています。

ただし、今後の門真市・大阪府の感染状況が悪化した場合はやむをえず中止とすることもありますので、あらかじめご承知おきください。なお、感染予防策はしっかりと行いますが、ご不安な方、懇談を望まない方につきましては、ご遠慮なく担任までお申し出ください。